

どんな研究？

- ・知覚や感情の背後にある，脳での複雑な情報処理の特性や原理を解明
- ・錯覚などの知覚現象の分析はその有効な手段のひとつ

もたらされる変革

- ・「質感」や「気分」など，従来捉えにくかったものを定量的・科学的に分析
- ・人間本来のあり方に適った，自然で安全な情報通信技術を開発するための基盤を提供

展示紹介

知覚や感情に関する最新の研究成果の一端を，デモンストレーション中心にわかりやすく紹介

D-2-1 物理・画像・知覚の秘められた関係
～自然画像から探る視覚の仕組み～

D-2-2 感情で見え方が変わる
～感情と認知の相互作用～

D-2-3 目や耳や脳のしくみを楽しむ、学ぶ
～錯覚体験ウェブサイト「イリュージョンフォーラム」～

連絡先： 柏野牧夫
人間情報研究部
感覚情動研究グループ

私たちの意識に上る知覚や感情は，脳内のさまざまなプロセスの複雑な相互作用によって生み出されます。その特性や原理を解明すれば，物理的な品質ではなく，人間にとっての品質の高い情報通信技術の開発に応用できます。

